

お知らせ

課名	脱炭素社会推進課
担当	大坪・竹本
内線	3052・3046
直通	086-226-7298

脱炭素経営促進のための事例集を作成しました！
～脱炭素経営のすゝめ 省エネ事例集～

脱炭素経営の必要性やメリット、省エネ事例、取組手法等、中小事業者の脱炭素経営に役立つ情報をまとめたパンフレットを作成しましたので、お知らせします。

パンフレットは経済団体、市町村等に配付しますが、脱炭素社会推進課にお問い合わせいただければ、お渡しすることも可能です。

併せて、県のホームページにも掲載しています。

<https://www.pref.okayama.jp/page/967019.html>



(参考) パンフレットの表紙

脱炭素経営のすゝめ 省エネ事例集

脱炭素経営って？
企業の成長を前提としつつ、事業活動に地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減する視点を取り込んだ経営のことです。規模や業種を問わず、全ての事業者が取り組む課題ですが、コスト削減だけでなく、**経営上のメリットやチャンスにつながります。**

経営上のメリットやチャンスって何？
省エネ対策に取り組むことで、光熱費や原料費のコスト削減のメリットを始め、環境保全に貢献している企業に向けた好条件での資金調達や、企業イメージの向上、環境意識の高い人材の確保のチャンスにもなります。

必要になってから取り組みばいいんじゃない？
およそ25%の企業が取引先から脱炭素に向けた要請を受けているとの調査結果もあり、サプライチェーン全体に取組を求める波はすぐそこまで来ています。要請があるまで待っていると急激な設備投資等が必要になる恐れもあります。計画立てて早期に動くことが健全な経営にも繋がります。

省エネの取組にも費用がかかるよね？
確かに初期投資による費用はかかりますが、光熱費等の削減によりランニングコストが下がるので、利益率の向上に繋がります。

<p>例えば、年商1億円の場合、 毎年光熱費が売上の3%として 1億×0.03=300万円 年間売上の10%を削減した場合 300万円×0.1=30万円 売上に對する省エネ利益率を2%として場合 30万円×0.02=150万円</p> <p>売上を150万円伸ばしたことに同等の効果</p>	<p>売上</p>	<p>利益</p>	<p>売上高増進 利益率アップ</p>
<p>半額光熱費が売上の3%として、年間光熱費の10%を削減した場合、売上に對する省エネ利益率を2%とした場合、売上を1,500万円伸ばしたことに同等の効果となります。</p>			

何から取り組みばいいかわからないんだけど？
①「知る」「測る」「減らす」の3つのステップで取り組みましょう。

01 知る
セミナーや各種情報発信サイトで「情報収集」
・カーボンフットプリントに向けた潮流を把握して見よう
・脱炭素経営で目指す方向性を検討しよう

02 測る
自社のCO₂排出量年「計測・把握」
・自社のCO₂排出量を算定しよう
・主要な排出源を把握して、どこから削減に取組むべきか、あたりを付けよう

03 減らす
削減率や削減率を活用した「見える・脱炭素経営の導入」
・削減対策を検討し、実施計画を策定しよう
・削減対策を実行しよう

具体的な取組は次のページから掲載しています。